

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

A
n
t
o
n
e
l
l
o

M
a
n
a
c
o
r
d
a

「ハイドン交響曲第49番」は、
「マラー交響曲第5番」は、
「アンテネロ・マナコルダ」が、
読響デビュー！

ベルリン・フィル、ウィーン国立歌劇場などで
活躍し、欧米で注目を浴びる
鬼才マナコルダが、読響デビュー！

アントネッロ・マナコルダ (指揮)
ANTONELLO MANACORDA, Conductor

ハイドン：交響曲第49番 ハ短調「受難」
HAYDN: Symphony No. 49 in F minor, "La passione"
マラー：交響曲第5番 嬰ハ短調
MAHLER: Symphony No. 5 in C sharp minor

読売日本交響楽団 第627回 定期演奏会
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra Subscription Concert No. 627

2023 4.5 (水) 19:00 サントリーホール
Wednesday, 5 April, 2023, 19:00 Suntory Hall
S ¥8,000 A ¥7,000 B ¥6,000 C ¥4,500

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
協力：アフラック生命保険株式会社

生と死、受難と喜び。 鬼オマナコルダが振る ハイドンとマーラー

アントネッロ・マナコルダ 指揮

欧米でうなぎ登りの評価を得ている時代の先端を走るアーティスト。イタリア・トリノでフランス・イタリア系の家庭に生まれ、アムステルダムで教育を受けた。アバドが設立したマーラー室内管の創設メンバーの一人として、長年コンサートマスターを務め後に、ヨルマ・バヌラのもとで指揮を学ぶ。2010年からカンマーアカデミー・ポツダムの芸術監督を務め、ソニー・クラシカルから多くのCDをリリースし、数々の賞を受賞。これまでにベルリン・フィル、ドレスデン国立歌劇場管、ミュンヘン・フィル、メトロポリタン歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、パリ・オペラ座、フランクフルト歌劇場など欧米各地の楽団や歌劇場から招かれている。

A n t o n e l l o M a n a c o r d a



欧州で熱視線を注がれる鬼オアントネッロ・マナコルダが読響に初登場する。マナコルダは、ヴァイオリン奏者として活躍し、クラウディオ・アバドが創設したマーラー室内管のコンサートマスターを長く務めた後に、指揮者に転向。2010年からカンマーアカデミー・ポツダムの芸術監督を務め、メンデルスゾーンやシューベルトの交響曲の録音で、大きな話題を呼んだ。現在は、オペラとシンフォニーの双方で能力を発揮しており、昨年はベルリン・フィルにデビューを果たし、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン国立歌劇場などの世界の檯舞台で活躍している。古典から近現代作品まで幅広いレパートリーを誇るが、中でもオーストリア・ドイツ系の作品での想像性を備えた冴えわたるセンスは大きな特徴だ。今回、ハイドンとマーラーの交響曲を振り、その腕前が存分に発揮されるだろう。

メインとなるマーラーの交響曲第5番は、生と死、躁と鬱、明と暗の狭間で揺れ動く、人間の普遍的なテーマに挑んだ作品だ。孤独と闘うかのような冒頭のトランペットに始まるが、フィナーレでは人生の美し

さを高らかに謳いあげる音楽が展開する。大編成の華麗なオーケストレーションが様々な感情を揺さぶり熱い快感を覚えると同時に、胸がしびれるほどの美しさと命の灯が尽きそうなまでの儚さを持っている。中でも“愛の楽章”と呼ばれる第4楽章“アダージェット”は、この世のありったけの美を詰め込んだかのように甘くて輝かしいのに、どこか切なく辛い。このギリギリの危うさこそ、マーラーの音楽の魅力なのだ。マナコルダのタクトは、今の時代にどんなマーラーの世界を描くのだろうか。

前半には、マナコルダが得意とする古典派のハイドン作品から、疾風怒濤期に書かれた傑作、交響曲第49番「受難」を演奏する。この「受難」というタイトルは、ハイドン自身が付けたものではないが、第1楽章の嘆き悲しむような音楽に似つかわしい。後半のマーラーの音楽の持つ明暗の落差と、呼応している部分も感じられる。なお、演奏会当日の4月5日は、キリスト教における「受難週」の真ん中に当たることから、ハイドンとマーラーの音楽を通して、生と死に向かい合う稀有な時間が訪れるだろう。

読売日本交響楽団 第627回 定期演奏会

2023年4月5日(水) 19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,000 / A ¥7,000 / B ¥6,000 / C ¥4,500

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 ■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ

<https://yomikyo.or.jp/>